

事業所名

白老町子ども発達支援センター

放課後等デイサービス・支援プログラム

作成日

2025年

1月

20日

法人（事業所）理念		発達の気になるお子さんが自分らしく楽しく学び楽しく過ごし、保護者が安心して子育てができるよう支援を行います。								
支援方針		家、学校以外の居場所として、お子さんが安心して楽しめる環境づくりを行います。本人及び保護者の意向を踏まえながらお子さんの強みや課題を見つけ、お子さん一人ひとりに合わせた支援の提供を行います。お子さんの様子に合わせて、個別・小集団の支援を提供します。他の療育・教育機関等との連携を大切にします。								
営業時間		月～金	14時	30分	から	(小学生) 16時	30分	まで	送迎実施の有無	なし
		月～金	14時	30分	から	(中学生以上) 17時	00分	まで		
		長期休暇 月～金	10時	00分	から	15時	30分	まで		
支 援 内 容										
本人 支援	健康・生活	支援員が友達とのやり取りを楽しめるよう援助し、放課後お子さんが安心して過ごせる場所を提供します。持ち物の管理、道具や遊具の用意と片付けなど、環境整備を自立的に行えるよう支援します。複数の部屋を使ったり、パーティションを用意し、お子さんが自分の事に集中しやすい環境を作ります。タイムタイマーや絵や文字のスケジュール表などを使って、予定をわかりやすく伝えます。								
	運動・感覚	静の活動と動の活動を設けます。文字を書いたり、道具を使った活動などを通じて、目と手や体を一緒に動かす活動を行います。それぞれの特性に応じた感覚の導入を意識した運動や創作を行います。								
	認知・行動	色々な活動の中で具体的なものや絵カードを使ったり、数の操作、形、長さ、大きさ、時間等の概念を学びます。活動の終わりの時間をタイムタイマーで知らせる等、時間を意識して自ら行動することを支援します。パーティションや別の部屋を用意して視覚刺激の少ない環境を作る、イヤーマフを使用するなど、必要に応じて個々の感覚特性に配慮した環境を設定します。								
	言語 コミュニケーション	自分のしたい事を伝える、手伝って欲しい時に援助を求めるなど、生活の中で自分自身を大切にするために、必要な行動を適切な場面で発揮できるよう支援します。お子さんの特徴やニーズに応じて、絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。活動の中で文字を表したり、読んで理解したりする力をつけます。集団遊びの中で「入れて」「貸して」と言って相手の返事を待つ、「いいよ」と応じる、「今使っているよ」「あとでね」と断るといった友達とのやり取りがスムーズにできるよう支援員が見本を見せたり助言したりします。								
	人間関係 社会性	小集団の時間を通して、順番に行く、ルールを守る、友達と協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身に着つける機会を作ります。友達との関わり方に関して、支援員が見本を見せたり、助言しながら肯定的な関わりが増えるよう支援します。								
家族支援		療育後のフィードバックや保護者面談などを通じて発達状況や支援のニーズの確認を行います。お子さんとの関わりや様々な不安や困り感に寄り添い、いつでも相談できる環境を整えます。				移行支援		必要に応じて、学校でのお子さんの様子を見学したり、学校の先生とお子さんの様子や支援方針について、情報共有したりします。		
地域支援・地域連携		学校や併用利用先と情報を共有します。相談支援委員や関係機関との連携を図ります。				職員の質の向上		定期的な職員会議等を行い支援方針について検討し、お子さんの支援方針について職員間で共有します。職員の各種勉強会や研修へ参加し質の向上を図ります。		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・季節の行事（バス遠足、夏祭り、クリスマス会、お祝い会など） ・親の会行事（親の会バス遠足、新年会など） ・避難訓練（地震、津波、火災） 								